



関中央ロータリークラブ

2022-2023 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278
会長 藤村 伸隆 副会長 山本 義樹 幹事 森 敬 クラブ会報委員長 長谷部 貴司

2022~2023 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「いつも一緒に笑い・夢を描き・そして成長しよう」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2095回例会 2023年3月16日(木) 担当 国際奉仕委員会
卓話 関商工会議所青年部 会長 堀部 資宏様 テーマ 年間活動報告

前例会の記録 第2094回 2023年3月9日(木)

関市役所 基盤整備部 都市計画課 那須政彦様

テーマ「関市まちづくり事業

市街地中心部活性化プロジェクト」

／ 担当 親睦活動委員会

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*お客様の紹介

関市役所 基盤整備部 都市計画課 那須政彦様

*会長あいさつ 藤村伸隆会長

本日のお客様をご紹介します。関市都市計画課 那須政彦様です。

「関市まちづくり事業 市街地中心部活性化プロジェクト」をテーマにて卓話を頂きます。よろしくお願い致します。今日の会場になっております「古民家 あいせき」につきまして後程お話し頂けると思いますが、明治20年築造された建物とお聞きしております。なかなか近くても訪問する事が出来ずにいました。今日は親睦委員会の段取りでお邪魔することができました。歴史あるお話と街の活性化事業につきましての



お話楽しみにしております。

さて、昨日のコロナ感染者は県下で234名、関市で8名とかなり少なくなりました。3月13日よりマスク着用も自由になる様です。来週の例会からは、会員それぞれの判断でマスクの着用は自由に判断頂く事で良いのかと思っています。もちろんこれは私個人の意見なのでもし不都合があれば言って下さい。それにしても長かったですね。毎回発表者がマイクの前でマスクを外し、写真に納まり、またマスクをつけてマイクに向かう。もうそれが当たり前になっています。どうか今後はコロナ禍以前に少しでも戻ってほしいと思います。それと今日からいよいよWBC野球が中国戦から始まりますが、楽しみに応援したいと思います。

*卓話

関市役所 基盤整備部

都市計画課 那須政彦様

テーマ

「関市まちづくり事業

市街地中心部活性化プロジェクト」

関市では中心市街地に、にぎわいと魅力を創出する



拠点を整備するとともに、観光拠点である「せきてらす」や「本町 BASE」、「古民家あいせき」、「関善光寺」、「関シティターミナル」などを遊歩道でつなぎ、歩いて楽しい空間づくりを目指しています。国土交通省都市局の都市構造再編集支援事業を活用して、中心市街地のにぎわいの拠点となる各施設や周辺の社寺仏閣、また安桜山や関川などといった「歴史・文化・自然」などの資源をつなぎ歩いて巡ることができる遊歩道や人々が集い交流できるふれあい広場を整備して、一体的な歩行者ネットワーク整備を進めています。

関市では、これまで人口増加に伴い、郊外部への住宅地開発が進み、居住エリアが拡大してきました。しかし、2005 年（平成 17 年）をピークに人口減少に転じています。今後、市街地が広がったまま人口減少が進むと、次のような問題が懸念されます。一つ目が、「人口減少が特に進む予測である、市街地中心部のにぎわいの低下」です。今後 20 年で関市全体では人口の約 15%が減少することが予測されています。市街地中心部に限ると約 24%が減少すると予測され、関市全域の中で非常に高くなっています。また、市街地中心部では人口は大きく減少しますが、65 歳以上の老年人口の割合が現在よりも約 7%増加すると予測されています。

次に、「人口減少により生活に必要な施設や、公共交通の維持が困難、まちの魅力が低下」です。人口が減少すると、医療や商業などの生活サービス施設や公共交通の利用者が減少し、施設の移転・撤退などが懸念されます。生活サービス施設の撤退や公共交通サービスの低下は都市の魅力の低下につながり、さらなる人口減少を招くといった、負のスパイラルに陥る可能性があります。

三つ目に「道路・橋などの老朽化による、維持管理への対応」です。人口減少に伴い、働く世代にあたる生産年齢人口（15～64 歳）も減少するため、市民税が減少する一方で、高齢者の増加に伴い社会保障関連費が増大するなど、財政状況はさらに厳しくなります。また、居住エリア拡大に伴い整備されてきた道路などの老朽化が進行しており、維持管理費用の増加が見込まれます。「持続可能なまち」であ

り続けるためには、まちをコンパクトにし、人口密度を高めることにより、効率的に行政サービスの提供を行い、行政コストを節減していくことが必要となります。

以上を踏まえ、効率的な都市経営ができる持続可能なコンパクトなまちづくりを推進するため、平成 29 年 3 月に「関市立地適正化計画」が策定されました。また、令和 2 年の都市再生特別措置法の改正により防災のまちづくりを取り入れた立地適正化計画を来年度に改定する予定です。立地適正化に向けた課題を踏まえ、将来都市像を、右の絵にあるような、「にぎわい・つながりのある、歩いて楽しいまち」と設定しました。立地適正化の方針は、「住みたくなる市街地」の形成です。

一つ目が、「生活サービス施設の充実と利便性の向上」です。これは、スーパーや、医療施設などの充実や、空き店舗などを活用した商店街への魅力的な店舗の誘導により利便性を向上させるものです。

二つ目が、「子育てしやすい環境づくり」です。子育て施設などの都市基盤の整備や、空き家活用などによる子育て世代の移住・定住を促進し、安心安全な住環境を形成します。

最後に、「まちがつながる、歩いて楽しい空間づくり」です。歴史・文化や身近な自然環境など、まちなかを楽しく巡ることのできる遊歩道や拠点を設定し、整備します。また、日常生活のおしゃべりや子どもたちの遊び場となる安全な「みち」や「ひろば」を整備します。

では、「にぎわい・つながりのある、歩いて楽しいまち」とは、どういったまちでしょうか。それを「居心地がよく、歩きたくなる、まちなか」と定義し、

「Walkable 歩きたくなる」

「Eye level まちに開かれた 1 階」

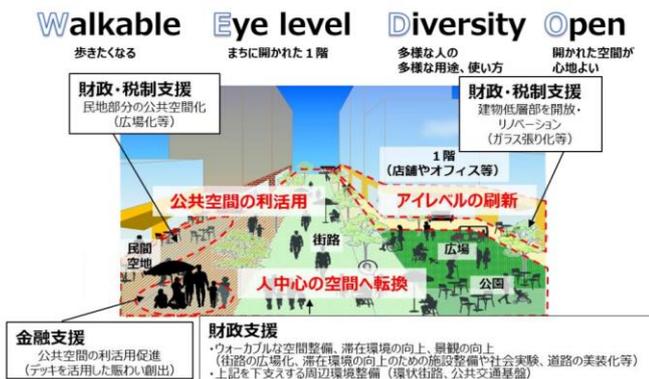
「Diversity 多様な人の多様な用途、使い方」

「Open 開かれた空間が心地よい」

といったにぎわい・つながりのある、歩いて楽しいまちを目指し、そのキーワードの頭文字をとって、「WE DO」と呼んでいます。

「にぎわい・つながりのある 歩いて楽しいまち」とは

○「居心地が良く歩きたくなる」空間のイメージ



現在、都市計画課で行っている具体的な施策は、「空き地のリノベーション」、これは「本町 BASE」や「本町7丁目広場」で行っています。「空き家のリノベーション」これは古民家あいせきで行っています。「歩いて楽しい空間の整備」、これは広場である「ひねもすぽと」や各拠点を巡る「遊歩道整備」を行っています。「遊歩道でめぐる、歩いて楽しい関のまち」として、3月の関市の広報にも掲載されました。観光施設である「せきてらす」を含め、各拠点の位置関係はこちらの地図のようになっています。



また、地図上の点線は、現在整備が行われた遊歩道の位置です。関駅とせきてらす前駅の一区間をおよそ 15 分程度で歩くことができます。本町通りに「行ってみたい」、「関わってみたい」と感じる魅力的なエリアにするため、市街地中心部の空き地を、「関市にぎわい横丁整備事業」としてリノベーションしたのが、「本町 BASE」です。飲食、物販、シェ

アキッチンを備え、やりたいことにチャレンジできる場をみんなでつくり、育て、持続的なにぎわいを創出します。事業期間は令和元年度から令和 5 年度までのまちづくりに関する社会実験として整備された施設でしたが、まちの施設としてニーズが高くなってきたため、令和 10 年度まで検証期間を延長する予定です。

まちなかで自分のやりたいことが実現できるチャレンジショップとしての機能を有し、併せて、まちのプレイヤーとなる人材育成と起業家支援も行っています。本町 BASE でチャレンジして、起業という夢を実現された方は現在 9 店舗あり、今後もチャレンジを応援していきます。チャレンジをするプレイヤー同士やチャレンジを応援するお客さんとの交流人口が増加する場となり、居心地が良い空間となっています。令和 2 年 11 月にオープンし、2 年 4 ヶ月経ち、実績は、このようになっています。

空き地のリノベーション【本町BASE】

- 【役割】
- ①チャレンジショップ機能
 - ②まちのプレイヤーとなる起業家支援人材育成
 - ③居心地がよく交流人口が増加する場の創出

- 【実績】
- ・利用者数：964件
 - ・訪問者数：59,113人（平均85人/日）
 - ・イベント開催件数：58回
- （令和2年11月～令和4年10月）



また、建築の分野においては、「設計」「建設」「管理」「解体」まで一貫したリース方式で発注するといった全国初の事業スキームや取り組み内容が評価され、中部建築賞を受賞し、建築雑誌にも掲載されました。市街地中心部の歴史ある古民家を活用して、まちなかににぎわいを創出し、まちの活性化をさらに加速させるための活動拠点施設と位置付け、空き家をリノベーションしたのが、「古民家あいせき」です。誰でも気軽に利用できるフリースペースで、多世代が多目的に利用できます。令和元年度から建物所有者と打合せなどを行い、令和 2 年度に耐震診断と設計、令和 3 年度にかけて耐震改修工

事を進めました。自由な使い方ができるフリースペースとして、広く市民に開放し、学生の自習や大人の寄り合い、企業などの会議や打ち合わせの場としての利用や古民家の雰囲気を活かした展示会や琴の演奏会、イベントなどが行われ、新たなコミュニティの形成に期待できます。これまでに、関高校、関商工高校、関有知高校や岐阜高専、中部学院大学、岐阜医療科学大学、岐阜大学とも連携した取り組みを行っており、若者参加のまちづくりを推進しています。また、まちなかの秘密基地として、自由で気軽な使い方で、人と人との新しいつながりや、地域人材の発掘を期待します。

明治 20 年に建築された建物で、明治 41 年には現・関信用金庫の前身となる有限責任関信用購買組合が置かれた歴史ある古民家です。空き家となった近年は「古民家山麓」の名で親しまれ、ギャラリーやお茶会などが行われていましたが、令和 2 年 2 月に所有者から土地・建物を関市へ寄贈されました。耐震及び改修の設計監理を株式会社 川上建築事務所、施工を株式会社 大和工務店で行い、令和 4 年 1 月にオープンしました。歴史ある建物の保存と活用といった、古民家リノベーションのモデルハウスの事業として評価され、全建ぎふ賞を受賞しました。

市街地中心部には、毎年桜が咲く関川沿いの散策路があり、散策路に隣接して親子連れが健診などで利用する保健センターがあります。散策路の途中で休憩できる日陰のある空間、散歩を楽しむ人や子供を遊ばせている親が安心してくつろげる空間として、関川沿いで保健センター北の空き地にふれあい広場「ひねもすぽっと」を整備しました。

また、計画地から徒歩圏内にある「せきてらす」や「本町 BASE」などの周辺施設とも連携したイベントや活動が行える場所として、新たなコミュニティの形成や関市内外の様々な人の交流が生まれることを期待しています。

ふれあい広場の名称である「ひねもすぽっと」とは、一日中という意味の「ひねもす」と広場という意味の「スポット」を掛け合わせてできた名称です。散策路の途中で一休みできる日陰のある場所、

保健センター帰りの親子連れが気軽に利用でき、子供にとっては魅力的な遊び場として、お母さんたちにとっては安心しておしゃべりのできる交流できる場所として、水場の設置やキッチンカーの寄り付き、大小さまざまなイベントや周辺施設と連携した企画が行える場所として、今後期待しています。施設への関心を高めてもらう企画として、2 月末には、小学生以下の親子連れを対象とした芝生を張るワークショップを行い、みんなで芝張り体験してもらいました。工事中の工事現場で、一般の方を入れたワークショップは関市では初の試みでしたが、工事現場や広場への関心が高まり、大成功のワークショップでした。

4 月 15 日（土）の関まつりに、オープニングイベントを行います。「歴史、文化、緑を巡る、歩いて楽しい空間づくり」を基に、安全・安心で快適に歩くことができる、美しいみちを整備します。にぎわいの拠点となる各施設やお寺、商店街など特徴あるエリア、また川沿いなどを巡るルートを設定しました。車中心のまちから、人中心のまちとなる整備の計画を基に、車両の速度抑制による「安全なみち」、歩道の幅員を確保する「快適なみち」、まちの景観が向上する「美しいみち」を目指します。左の周辺地図をご覧ください。

歩いて楽しい空間の整備【遊歩道整備】



地図上にあるオレンジに塗ってある場所が公共施設、紫が社寺仏閣、緑が公園です。また、赤の線がメインルート、青の線をサブルートとして設定し、整備します。現在は、右上の写真の通り、本町通りの辻屋の東の道から、右中央の写真のような、南へ

保健センターの西までのメインルートと、右下の写真のように、関川沿いの橋からせきてらすまでのサブルートが整備され、来年度以降も引き続き整備していきます。

最後に、市街地中心部のにぎわいの拠点となる「せきてらす」や「本町 BASE」、「古民家あいせき」、「ふれあい広場（ひねもすぽっと）」、のほか、「関善光寺」や「春日神社」、「桜並木」など魅力的な立ち寄りポイントが遊歩道でつながっていきます。冬の寒さが少しずつ和らぎ、春が近づいてきました。天気の良い日は少し気分を変えて、まちを歩いてみませんか。

*出席委員会

会員数 29 名、本日の出席 18 名です。

*ニコボックス委員会

- ・会長、副会長、幹事

本日は関市都市計画課 那須政彦様には大変お忙しい中卓話にお越し頂き誠にありがとうございます。お話を楽しみにしております。

- ・川上 勉君

関市都市計画課 那須様 よろしく申し上げます。

- ・西田 健一君

昨日は、家内の誕生日に素敵なプレゼントをいただきありがとうございます。早速おいしくいただきました。尚、3月11日は結婚50周年を迎えます。よくこんなに長くもったものだと感心しております。

- ・高井 良祐君

NHK のど自慢 2023 関。鐘一つでした。楽しい経験をさせて頂きました。

18 名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

- ・次期ガバナー補佐予定者

郡上八幡ロータリークラブ 渡邊 剛様

- ・例会終了後、有志で懇親会を行いますのでよろしければご参加ください。

<次例会の案内>

第 2096 回 2023 年 3 月 30 日 (木)

C. A 会長エレクト研修セミナー報告